

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入する。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	10	・利用者や家族等が意見、要望等を管理者や職員ならびに外部者へ、いつでも気軽に表せる機会が少ない。	・いつでも意見や要望を表せるよう意見箱を設置する。	・意見箱を手作りし、正面玄関へ設置する。 ・専用用紙を準備しいつでも記入し投函できるようにする。 ・利用者御家族には、文書にて意見箱設置の案内をする。	1 ヶ月
2	35	・災害対策について、昼夜問わず利用者が避難できる方法を全職員が身に付ける為の訓練の回数が少ない。 ・地域との協力体制が築けていない。	・全職員が夜間時の避難訓練を経験できるよう計画的に取り組む。 ・地域の協力を頂けるよう避難訓練の参加をお願いする。	・夜勤担当者が、全員夜間時の避難訓練を体験出来るよう計画的に避難訓練を実施する。 ・総合避難訓練に、地域の方の参加協力をいただく。	12 ヶ月
3	33	・終末期に向けて、御家族等へ十分説明し方針を共有しチームで支援に取り組むためのマニュアル整備が不十分である。	・早急にマニュアルを作成し、職員間で更に勉強会を重ね、体制整備を進める。	・看取りについてのマニュアルを早急に完成させ、看取りの体制を整え御家族と再度方針を共有できる説明の機会を設ける。	2 ヶ月
4	2	・地域に於ける認知度が不十分である。	・地域の行事情報を町内会の方から得れるよう方策を検討する。 ・地域の方へ、当事業所の行事や活動をお知らせできる方策を検討する。	・町内会会長等運営推進委員の皆様から情報をいただく。 ・地元の保育園や小学校等へ出向ける様相談してみる。 ・『100歳いきいき体操』等の支援を行政にいただき、地域の方も参加いただけるよう働きかける。	12 ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。